

自然と共生するスマートエコアイランド種子島シンポジウム
～ 持続的な社会へ向け、産学公で広がる連携 ～

1. 趣旨

平成 26 年 8 月から最先端研究に関わる大学や企業等と行政・地域が連携し課題の解決を図り、持続的な社会モデルを構築しようとする取り組みが種子島で始まりました。この2年半余りで、エネルギーや健康医療を中心に様々な分野において実社会へ応用する研究が行われ、広がりを見せています。本シンポジウムでは、大学教員による研究報告及び種子島高校生による発表などを行い、これまでの活動を振り返りながら地域住民とともに解決すべき課題について学び合います。そして、将来ビジョンを共有し、地域が一体となって意識と相互の関わりを深めていくことを目的として開催します。

2. 日時:平成29年3月11日(土) 13時00分 (開場12:30)

3. 場所:ホテルニュー種子島 2階 コンベンションホール

4. 内容

12:30 開場

13:00 開会

13:00～13:10 開会の挨拶 西之表市 副市長 坂元茂昭

【第1部】

13:10～13:30 基調講演 東京大学 教授 大久保達也氏

13:30～14:50 研究活動報告

①13:30～14:00 東京大学 准教授 菊池康紀氏

②14:00～14:30 京都大学 助教 藤原幸一氏

③14:30～15:00 筑波大学 教授 矢田幸博氏

15:00～15:20 体験活動報告

東京大学 学生支援課、学生(体験活動プログラム)

15:20～15:30 <<休憩>>

【第2部】

15:30～16:30 実演・発表 種子島高校活動発表(対話型 WS、RESAS)

16:30～16:50 総括・講演 内閣府地方創生室 参事官 澤田史朗氏

16:50～17:00 閉会のあいさつ

17:00 閉会

5. 主催 西之表市

6. 後援(予定) 鹿児島県熊毛支庁、中種子町、南種子町、
東京大学「プラチナ社会」総括寄附講座、化学工学会ほか

7. 定員 200 名

8. その他 会場での先端研究展示等
種子島高校 WS、熱中症アラーム(デバイス)、認知症(検査機器)、ツーリズム
バイオディーゼル、プラチナ大賞優秀賞、プラチナシティ認定証等
※テーマはいずれも仮称で、講演者も調整中。